



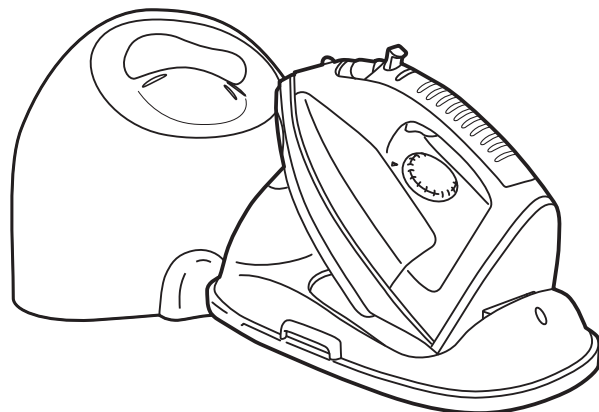
取扱説明書

保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

コードレス スチームアイロン ZBB-100



も く じ

安全上のご注意	1 ~ 3
ご使用上の注意とお願い	4
各部の名称とはたらき	5
ご使用になる前に	6 ~ 7
使いかた	8 ~ 11
お手入れと保管	12 ~ 13
故障かな?と思ったら	13
仕 様	14
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社コードレススチームアイロンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



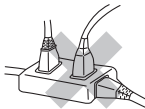
警告



指示に従う

交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使用する

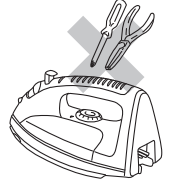
- 交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線などで使用するとコンセントの異常発熱や感電・発火・火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理・改造はおこなわない

- 火災・感電・けがの原因になります。
- ※故障と思われるときは、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 発熱・感電・火災の原因になります。



禁止

傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



指示に従う

本体やスタンドに異常・故障・破損・水もれがあったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 火災・感電・けがの原因になります。
- すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりをふき取る 電源プラグにピンやゴミを付着させない

- 刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電・けがの原因になります。



接触禁止

給電中・使用中・使用後しばらくはかけ面などの高温部に触れない、手や顔を近づけない

- 高温ですのでやけどの原因になります。特にお子さまには触らせないように注意してください。

警告



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用しない

- また、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工すると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。
- ※結束バンドは必ず外す。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本体やスタンドを水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



プラグを抜く

お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

- やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

給電したまま放置するなど、使用中はその場を離れない

- 発火・火災の原因になります。



禁止

お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない

幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

- 感電・やけど・けがの原因になります。



禁止

本体の接続ピンやスタンドの接点部にゴミ・ほこり・金属物などを付着させない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金などの異物を入れない

- 感電・けが・故障の原因になります。



指示に従う

使用後は水タンク内の水を捨ててから保管する

- 水タンク内の水がこぼれたり、次回使用時に給電したとき、スチームが噴き出したり、湯滴が出てやけどの原因になります。



指示に従う

お手入れは充分冷めてからおこなう

- かけ面などの高温部に触れ、やけど・けがの原因になります。



禁止

スチームを顔・手・足・着用したままの衣類にかけない

- やけどの原因になります。



禁止

本体の近くで引火性の危険物(ガソリン・ベンジン・シンナーなど)を使用しない

- 爆発・火災の原因になります。



接触禁止

スチーム使用中にスチーム噴出穴近くに手をかざしたり、スチームに触れない

- スチームでやけどをする原因になります。



禁止

皮革製品・人工皮革製品・スチームで縮む可能性のある絹や着物などに使用しない



禁止

給電する前にスチームボタンを必ず「ドライ」にし、給電中はスチームボタンを操作しない

- スチームが噴き出したり、湯滴が出てやけどの原因になります。



禁止

収納ケースの取っ手を持って、収納ケースを振り回さない

- 収納ケースからスタンドや本体が外れて落下し、けが・故障の原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

フローリング・畳・じゅうたん・熱に弱い敷物(テーブルクロスなど)の上でアイロンを直接使用しない

必ずアイロン台の上で使用する

- 床面や敷物が熱で変色・変質したり、発火・火災の原因になります。

⚠ 注意



本体を傾けたり、前後に激しく動かさない

- 水もれ・やけど・けがの原因になります。

禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

- 感電・ショート・発火の原因になります。
- ※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。

禁止



本体を立てて置かない

- 本体が倒れて、けが・やけど・火災の原因になります。使用しないときは必ずスタンドに確実に置いてください。

禁止



電源コードを持ってスタンドを引きずらない

- 故障・事故の原因になります。

禁止



縫い針をさしたままの衣類にアイロンをかけない

- やけど・故障の原因になります。

禁止



熱い本体に電源コードを巻き付けたり、スタンドに電源コードを巻き付けて保管しない

- 電源コードが破損してショート・発火する原因になります。

禁止



衣類に表示してある絵表示より高い温度でアイロンをかけない

- 衣類を傷める原因になります。

禁止



本体を持ち運んだり、収納するときは充分冷めてからおこなう

- かけ面などの高温部に触れ、発火・やけど・けがの原因になります。

指示に従う



織物以外の衣類に使用しない

- 織物以外（不織布など）の衣類は熱に弱いため、衣類を傷めたり、アイロンのかけ面が汚れる原因になります。
- ※不織布の代表的な衣類はフリースなどがあります。

禁止



本体やスタンドに強い衝撃を与えない

- 破損・故障・感電・けがの原因になります。

禁止



本体を逆向きに持ってアイロンをかけない

- 温度調節つまみやスチームボタンなど、誤操作の原因になります。

禁止



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損・けが・事故の原因になります。

禁止



本体を収納ケースにセットして持ち運ぶときは、スタンドに収納ケースが確実にセットされているか確認する

- 片側だけがはまっているなどの状態で持ち運ぶと、製品が落下してけが・故障の原因になります。

指示に従う



本製品は一般家庭用です絶対に業務用に使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、故障・火災・事故の原因になります。

禁止



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない

- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
- ※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

禁止



ご使用上の注意とお願い

アップリケなどの接着をおこなうときは「あて布」を必ずしてください

- スチームボタンを「ドライ」にして、温度調節つまみを「麻」か「綿」に合わせ、必ず「あて布」をしてください。説明書が添付されているときは、その指示にしたがってください。

市販品のかけ面カバーは使用しないでください

- 故障の原因になります。

スプレーのりはシリコン系が成分に含まれたものを使用し、スチームボタンを「ドライ」にしてアイロンをかけてください

- シリコン系が含まれていないのりを使用すると、かけ面にのりが付着して滑りが悪くなったり、衣類が汚れる原因になります。

ボタンやファスナーなどの固いものにアイロンをかけないでください

- かけ面を傷めます。

かけ面の温度が充分上がってからスチームを使用してください

- スチーム噴出穴から湯滴が出てやけどをする原因になります。

使用しないときや保管中は、スチームボタンを「ドライ」にしてください

- 水もれしたり本体内部が腐食する原因になります。

本体の接続ピンとスタンドの接点部はペーパーなどで磨かないでください

- 接触不良の原因になります。

本体をスタンドに置くとき、逆向きや横向きに置かないでください

- 変形・故障の原因になります。

アイロン台からはみ出した状態でアイロンをかけないでください

- やけどをする原因になります。

かけ面が収納ケースなどにあたらないようにしてください

- 傷・変形・故障の原因になります。

水タンクに水道水以外は入れないでください（リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れないでください）

- 故障・衣類の汚れの原因になります。

本製品は衣類のアイロンがけ専用です。他の目的で使用しないでください

- 過負荷がかかり、故障の原因になります。

取っ手を強く押さえずぎないでください

- 破損・故障の原因になります。

洗濯や脱水した直後の衣類はアイロンをかけないでください

- 蒸発した水蒸気によるやけど・故障の原因になります。

直射日光のあたる場所に本製品を保管しないでください

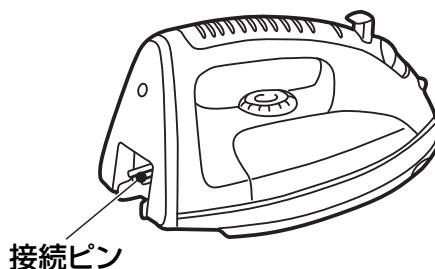
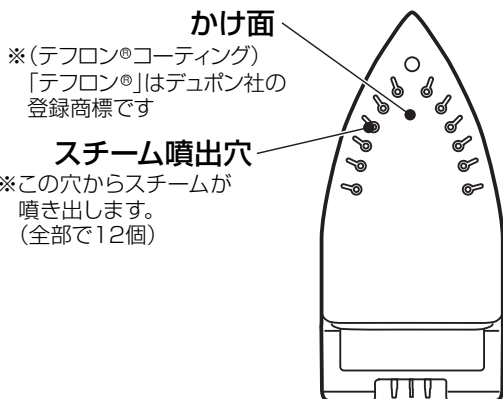
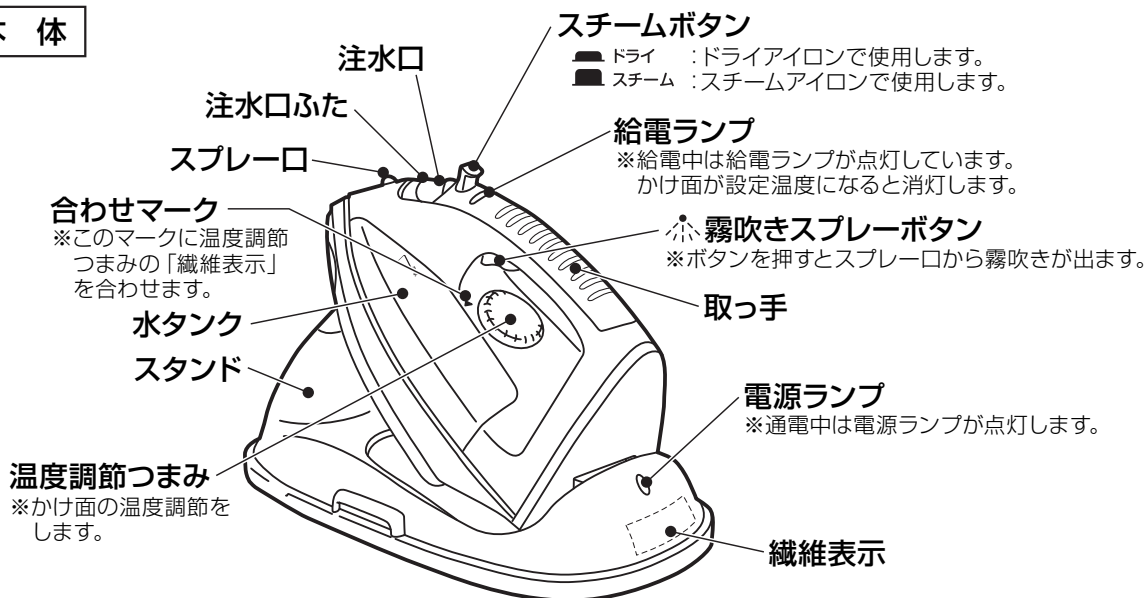
- 変質・劣化・変形・破損の原因になります。

高級衣類や熱に弱い衣類にアイロンをかける場合は目立たない所で「試しかけ」をしてから使用してください

- 必要な場合は「あて布」をしてください。

各部の名称とはたらき

本体



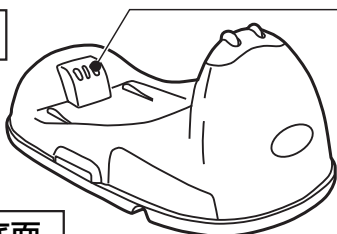
付属品

注水カップ



水タンクに水を注ぐときに使用します。

スタンド

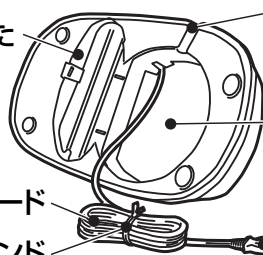


接点部

※本体を置いていないときは接点部を保護するため、スライド式カバーが下りています。

スタンド底面

コード収納部ふた



コード通し溝

※使用中はこの溝に電源コードを通します。

コード収納部

※使用時以外はここに電源コードを収納します。

電源コード

結束バンド

※使用時は必ず外す。

電源プラグ

収納ケース



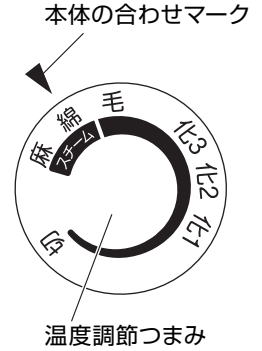
ケースフック(両サイド)

※ケースフックの下部を外側に開き、上へ持ち上げて外します。

ご使用になる前に

温度調節つまみと繊維の関係について

- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせる。
- 絵表示のない場合は、下表の繊維名にしたがい温度調節つまみを合わせ、混紡の場合は、設定温度の低い繊維に合わせる。
- ※アイロンをかけているとき衣類の上で止めたり、極端にゆっくり動かしたりすると、繊維に合った温度設定でも衣類を傷めることがあるので注意してください。
- ※熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは目立たない所に「試しかけ」をするか「あて布」をしてください。
- ※ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。



温度調節つまみの目盛り	繊維名	かけ面の温度	衣類に表示されている絵表示
麻	麻	約180～190℃	
綿	綿		
毛	毛	約140～160℃	
化3	アセテート、レーヨン キュプラ、絹 ポリエステル、ナイロン ビニロン	約130℃	
化2	アクリル、ポリウレタン	約80～120℃	
化1	ビニリデン、アクリル系 ポリプロピレン		



絵表示の見かた(例)	
	指定された温度であて布をする意味です
	指定された温度で衣類の裏からかける意味です
	アイロンをかけることはできません
その他「スチーム禁止」などの表示がある場合はその指示にしたがうようにする	

※「化」は化学繊維を表しています。

織物以外の衣類に使用しないでください。

織物以外（不織布など）の衣類は熱に弱いため、衣類を傷めたり、アイロンのかけ面が汚れる原因になります。

※不織布の代表的な衣類はフリースなどがあります。

コードレスアイロンについて

コードレスアイロンは、本体をスタンドに置いたときにヒーターに通電し本体のかけ面に熱を蓄え、その余熱でアイロンをかけます。

アイロンをかけていると、徐々にかけ面の温度が低下するので、本体をスタンドに置いて給電をしながら使用します。給電中は衣類などを整えます。

■給電時間と使用時間の目安

1 給電中にアイロンをかける準備をする

- ヒーターに通電中は給電ランプが点灯する。

※給電時間は約90秒かかります。

2 給電ランプが消灯してからアイロンをかける

- かけ面が設定温度になるとヒーターへの通電が停止する。

給電ランプが消灯したらアイロンをかける。

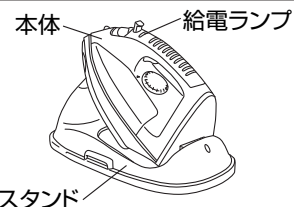
※連続使用時間は最大約90秒ですが、使用方法により異なります。

3 給電は衣類を整えている間などにおこなう

- 衣類を整えている間は、本体をスタンドに確実に置き給電する。

※設定温度によって異なりますが、使用開始から約60秒～90秒経過すると、給電アラームが鳴ります。鳴った場合は本体をスタンドに置き給電ランプが消灯するまで給電します。

初めの給電時間 (最高温度で設定した場合)	約90秒
使用できる時間	約60～90秒
2回目以降の給電時間 (最高温度で設定した場合)	約30～40秒



ご使用になる前に つづき

■上手にアイロンをかけるコツ

本体の重みを利用して軽く滑らす

- もどりジワを防ぐために一方向に軽くかける。

しっかり押さえる

- シワがひどいときや、厚手の衣類の折り目付け、縫い目などはしっかり押さえてかける。

スチームをかける

- 袖口や裾の仕上げ、ひざのまるみ取り、セーターや背広など、柔らかな感じに仕上げたいときは本体を軽く浮かせてスチームをかける。

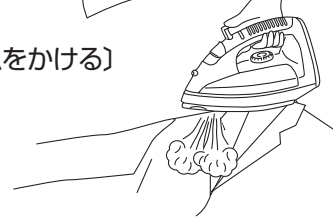
〔一方向にかける〕



〔しっかり押さえてかける〕



〔スチームをかける〕



■アイロンをかけるときのアドバイス

アイロンは順序よくかける

- アイロンをかける前に衣類を分類し、設定温度の低い衣類から設定温度の高い衣類の順に効率よくアイロンをかける。

縫い目は引っ張りぎみに

- ※衣類の縫い目を引っ張りぎみにすると細かいシワも残りにくくなります。

スプレーのりはドライで

- スプレーのりを使用するときは、必ずスチームボタンを「ドライ」にしてアイロンをかける。
- ※「パリッ」と仕上げたいときは、「スプレーのり→アイロンかけ（ドライ）」を繰り返します。
- ※アイロンをかけたあとは、かけ面が充分冷めてから、水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってかけ面をふいてください。かけ面にのりが付着していると、衣類が汚れる原因になります。

かけ面に衣類がからむ

- 静電気が発生しているので、かけ面を衣類の端まで滑らせてから本体を持ち上げる。

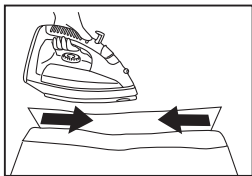
ハンカチは余熱を利用して

- ハンカチなどの小さいものは、電源を切ったあとの余熱を有効に利用してアイロンをかける。

厚手の木綿や麻には

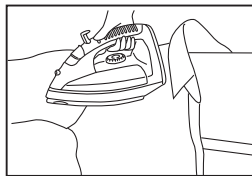
- ※霧吹きスプレーをして「ドライ」でアイロンをかけるときれいに仕上がります。
- ※「ドライ」とはスチームを使用しないアイロンかけのことです。

■ワイシャツのかけかた



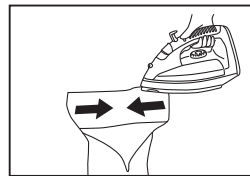
1. エリ

- エリは厚みがあるので表裏両面かける。縫い目を引っ張りながら端から中心に向かってかける。



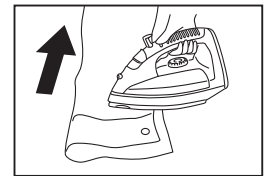
2. 肩(ヨーク)

- アイロン台の端を使ってかける。縫い目部分は、かけ面の先を使って細かくかける。



3. 袖先

- 袖先は厚みがあるので表裏両面かける。縫い目を引っ張りながら端から中心に向かってかける。



4. 袖

- 袖下の縫い目で折り、縫い目を押さえながらシワを伸ばし、袖口から肩に向かってかける。ひっくり返して反対側の袖全体をさっとかける。

使いかた

スチームアイロンとして使用する場合

1

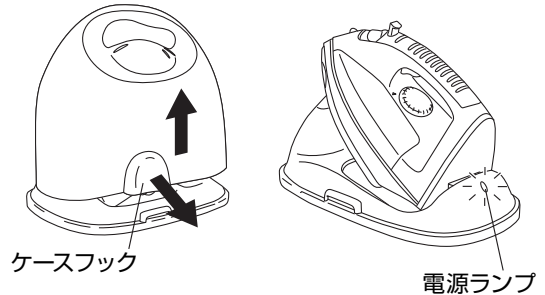
電源コードの結束バンドを必ず外し、電源プラグをコンセントに差し込む

■収納ケースを外す

- 収納ケースの両側にあるケースフックを外側に開きながら、上に持ち上げて収納ケースをスタンドから外す。

■電源プラグをコンセントに差し込む

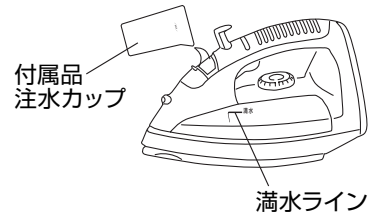
- スタンドのコード収納部から電源コードを取り出し、電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込む。
(スタンドの電源ランプが点灯します)



2

水タンクに水を入れる

- スチームボタンが「ドライ」になっていることを確認して、注水口のふたを開け、水タンクを水平にして付属の注水カップで水位を確認しながら水を入れる。
- 注水口のふたを閉める。



— ご使用上の注意 —

- ※水タンクの満水ライン以上水を入れしないでください。
- ※必ず水道水をお使いください。
- ※水もれを防ぐため本体を持ち運ぶときは、スチームボタンを「ドライ」にしてください。

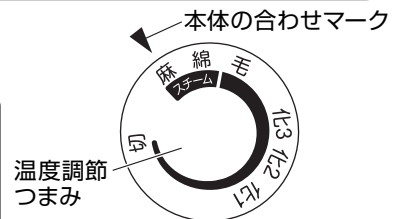
3

本体をスタンドに確実に置き給電する

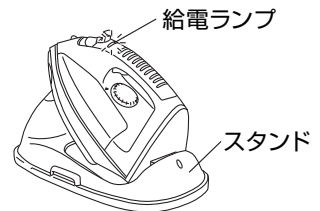
必ずお守りください

スチームボタンは必ず「ドライ」にして給電してください。給電中にスチームが噴き出したり、湯滴が出てやけどの原因になります。

- 本体をスタンドに確実に置き、温度調節つまみを「麻」または「綿」に合わせる。
※「麻」または「綿」以外に設定すると、スチームが弱かったり、出ないことがあります。
- 給電中は本体の給電ランプが点灯する。
- かけ面が設定温度になると給電を停止し、給電ランプが消灯する。



「麻」か「綿」に合わせる



— ご使用上の注意 —

- ※給電ランプが消灯してからアイロンをかけてください。
- ※スチームアイロンをかけるときは、必ず温度調節つまみを「麻」または「綿」に合わせてください。
- ※給電中・使用中・使用後しばらくは、かけ面が高温になっています。やけどに充分注意してください。
- ※給電中や給電ランプが消灯するときに「カチッ」と音がしますが、自動温度調節器（サーモスタット）の動作音で異常や故障ではありません。
- ※本体をスタンドに置くときは、逆向きや横向きに置かないでください。変形・故障の原因になります。
- ※本体の接続ピンとスタンドの接点部が合うように置いてください。
- ※使用しないときは必ず本体をスタンドに確実に置いてください。

使いかた つづき

4 アイロンをかける

- 給電ランプが消灯したら、スチームボタンを「スチーム」にしてアイロンをかける。
 - ※使用開始時はスチームが出るのに時間がかかる場合があります。
 - ※スチームの噴き出しが悪いときは、本体を水平にしてから前後に数回ゆっくりと動かしてください。
- 水タンクの水が少なくなったら、8ページの「**2** 水タンクに水を入れる」の手順で給水する。



必ずお守りください

給電表示が「低」または「中」などの熱に弱い衣類は、本体を浮かせてスチームをかけてください。

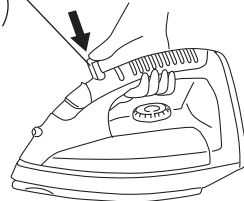
ご使用上の注意

- ※スチームでアイロンをかけるとき、温度調節つまみを「麻」または「綿」以外に合わせるとスチームがうまく出ず、湯滴が出てやけどの原因になります。
- ※スチーム噴き出し時に白い粉が出るがありますが、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固形化したもので異常ではありません。白い粉が衣類に付着した場合は、はらっていただくと取れます。
- ※洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、熱を加えると衣類が変色することがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンをかけてください。
- ※スチームでアイロンをかけていると本体や水タンクの表面に水滴が付着することがありますが、これはスチームが結露したものです。水滴が多いときはふき取ってください。
- ※本体を真横や逆さまにしないでください。水もれすることがあります。
- ※スチームは高温なので、顔・手・足・着用したままの衣類にかけないでください。
- ※本体をスタンドに「置くとき」または「外すとき」に、まれにスタンドの接点部よりスパーク（火花）が発生することがありますが異常ではありません。

5 途中給電

- アイロンをかけているとかけ面の温度が徐々に低下し、給電アラームが鳴ります。
アラームが鳴ったら、スチームボタンを「ドライ」にして、本体をスタンドに確実に置き給電する。

「ドライ」に合わせる



ご使用上の注意

- ※本体をスタンドに置くときは、逆向きや横向きに置かないでください。変形・故障の原因になります。
- ※本体の接続ピンとスタンドの接点部が合うように置いてください。
- ※使用しないときは必ず本体をスタンドに確実に置いてください。

使いかた つづき

5 途中給電 つづき

- 給電ランプが点灯しているときは給電中なので、消灯するまで待ってから使用する。
- 給電中に温度設定をかえると、点灯していた給電ランプが消灯するので、給電ランプが再点灯し、消灯するまで待ってからアイロンをかける。
- ※「麻」または「綿」からかえた場合は、かけ面の温度が下がりにくく適温になるまで時間がかかります。
- 温度設定「麻」または「綿」で連続してスチームアイロンをかけることのできる時間は、使用条件により異なりますが約90秒です。

ご使用上の注意

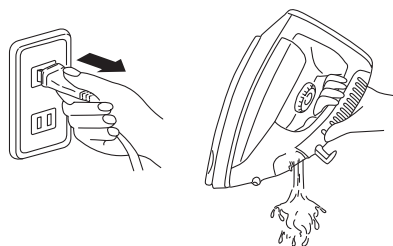
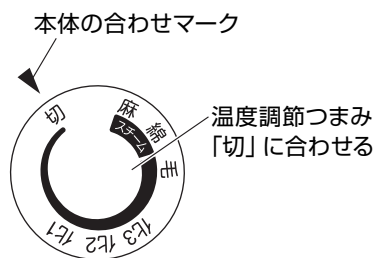
※スチームボタンを「スチーム」にしたまま給電すると、かけ面の温度の上昇とともにスチームが噴き出し、やけどをする原因になります。給電中は危険防止のためスチームボタンは必ず「ドライ」にしてください。またスチームボタンを「ドライ」にした状態でも本体内部に残った水でスチームや湯滴が出ることがありますので注意してください。

6 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜く

- スチームボタンを「ドライ」にする。
- 温度調節つまみを「切」に合わせ、スタンドに確実に置き電源プラグをコンセントから抜く。
- 水タンクに水が残っている場合は、かけ面が充分冷めていることを確認してから注水口のふたを開け、本体を逆さまにして水を捨てる。

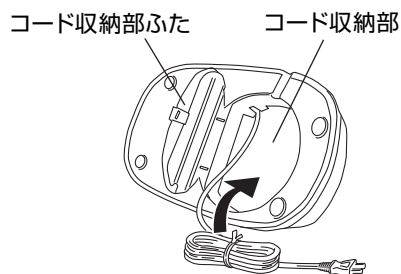
ご使用上の注意

※水タンクの水を捨てるときは、かけ面などが充分冷めてからおこなってください。やけどの原因になります。



7 電源コードを収納する

- 電源コードをまとめ、スタンド底面のコード収納部に電源コードを収納する。

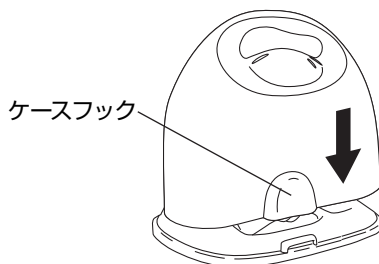


8 収納ケースをかぶせる

- 本体をスタンドに確実に置き、収納ケースをかぶせて軽く上から押さえ、収納ケース両側のケースフックが確実にハマっているか確認する。

ご使用上の注意

※収納するときにはかけ面が充分冷めてからおこなってください。
※給電したまま収納ケースをかぶせないでください。
※ケースフックが片側しかはまっていない場合、持ち上げたときに外れることがありますので注意してください。



収納ケースの両側にあるケースフックを確実にスタンドにはめる

使いかた つづき

ドライアイロンとして使用する場合

1 電源プラグをコンセントに差し込む

8ページの「**1** 電源コードの結束バンドを必ず外し、電源プラグをコンセントに差し込む」を参照する。

2 本体をスタンドに確実に置き給電する

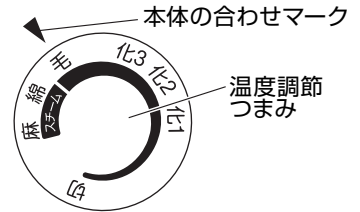
必ずお守りください

水タンクに水が入っている場合は、スチームボタンを必ず「ドライ」にして給電してください。給電中にスチームが噴き出したり、湯滴が出てやけどの原因になります。

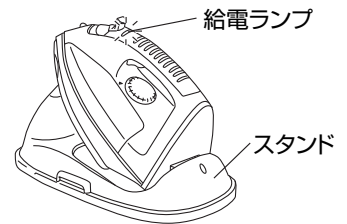
- 本体をスタンドに確実に置く。
- 6ページの「**温度調節つまみと繊維の関係について**」を参照し、アイロンをかける衣類の繊維に応じて温度調節つまみを合わせる。
- 給電中は本体の給電ランプが点灯する。
- かけ面が設定温度になると給電を停止し、給電ランプが消灯する。

ご使用上の注意

- ※ 給電ランプが消灯してからアイロンをかけてください。
- ※ 温度設定しないと給電しません。
- ※ 給電中・使用中・使用後しばらくは、かけ面が高温になっています。やけどに充分注意してください。



衣類に応じて合わせる



3 アイロンをかける

給電ランプが消灯したらアイロンをかける。

ご使用上の注意

- ※ 洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、熱を加えると衣類が変色することがあります。衣類をよくすすぎ、乾かしてからアイロンをかけてください。
- ※ 本体をスタンドに「置くとき」または「外すとき」に、まれにスタンドの接点部よりスパーク(火花)が発生することがありますが異常ではありません。

4 途中給電

9ページの「**5** 途中給電」を参照する。

5 使用後は

10ページの「**6** ご使用後は電源プラグをコンセントから抜く」を参照する。

6 電源コードを収納する

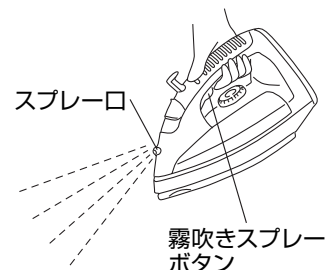
10ページの「**7** 電源コードを収納する」を参照する。

7 収納ケースをかぶせる

10ページの「**8** 収納ケースをかぶせる」を参照する。

霧吹きスプレーを使用する場合

- 水タンクに水が入っている状態で、本体を水平にして霧吹きスプレーボタンを押すとスプレー口から霧吹きが出ます。
- ※ 霧吹きスプレーの出が悪いときは、スプレーボタンを数回押してください。



お手入れと保管

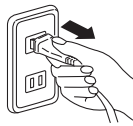
お手入れや移動のときは、電源プラグをコンセントから抜きかけ面などが充分冷めたのを確認してからおこなう。

※お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用してください。

警告



お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
● やけど・感電・けがの原因になります。



本体やスタンドを水につけたり、水をかけたり、丸洗いをしない
● 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



注意



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきんなどは使用しない
● 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になります。
※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない
● 変質・破損・けが・事故の原因になります。

■ 本体・スタンド (丸洗いできません)

- 汚れは、水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取る。
- 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取る。

ご使用上の注意

※本体やスタンドの丸洗いは絶対にしないでください。

■ かけ面 (丸洗いできません)

- スプレーのりを使用したあとは、水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼってかけ面の汚れや付着したのりをふき取る。クレンザー、たわしなどは表面を傷付けるので使用しない。

ご使用上の注意

※かけ面が充分冷めてからおこなってください。
かけ面にスプレーのりなどが残っていると、衣類が汚れる原因になります。

■ スチーム噴出穴のつまり

- つまようじなどでゴミなどを取り除き、水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取る。
- 不要な布などの上で数分間、スチームの噴き出しをする。

■ 水タンク

- 水タンク内に水を半分くらい入れ、注水口のふたを閉めて本体を軽く振り水を捨てる。
(数回繰り返す)

■ 本体の接続ピン・スタンドの接点部

- 乾いた柔らかいふきんで汚れをふき取る。
※ペーパーなどで磨いたりしない。接触不良の原因になります。

スチーム噴き出しの確認方法

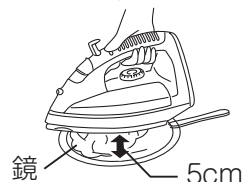
スチームの噴き出しが悪い、途中で止まるなどの場合は次の方法で確認する

本体を水平にし、スチームボタンを「スチーム」↔「ドライ」と切りかえを数回繰り返してから、「スチーム」にする。

鏡を敷いて、鏡から5cm程本体を離し、水平にして前後に数回ゆっくりと動かす。

スチームが噴き出している場合は鏡がくもり

ます。
鏡がくもらない場合はお手入れをしてください。



警告



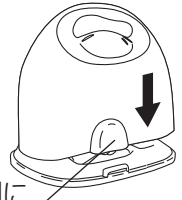
スチーム使用中にスチーム噴出穴近くに手をかざしたり、スチームに触れない
● スチームでやけどをする原因になります。

お手入れと保管 つづき

■ 保 管

保管のときは必ずお手入れをおこない、よく乾燥させる。

- お手入れしたあとよく乾燥させ、本体をスタンドに確実に置き収納ケースをかぶせる。
- 直射日光や湿気を避けて保管する。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)



収納ケース両側に
あるケースフック

ご使用上の注意

- ※かけ面が熱い状態で収納ケースをかぶせないでください。
- ※収納ケース両側のケースフックがスタンドに確実にハマっていない状態で持ち運ぶと、落下してけが・故障の原因になります。
- ※収納ケースの取っ手を持って収納ケースを振り回さないでください。

故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
かけ面が熱くならない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	●温度調節つまみが「切」になっていませんか?	●温度調節つまみを適切な温度に合わせてください。
	●給電が正しくできていますか?	●本体をスタンドに正しく置き、給電されているか確認してください。
スチームが出ない、出が少ない	●温度調節つまみが「麻」または「綿」になっていませんか?	●温度調節つまみを「麻」または「綿」に合わせてください。
	●スチーム噴出穴にゴミなどが付着していませんか?	●スチーム噴出穴をお手入れしてください。
水もれする 湯滴が出る	●低い温度でスチームを使用していませんか?	●温度調節つまみを「麻」または「綿」に合わせてください。
衣類がこげる	●衣類の繊維にあった温度に設定していませんか?	●衣類の繊維に合わせて適切な温度に設定してください。
	●熱に弱い繊維はあて布をしてアイロンをかけていますか?	●あて布をしてかけてください。
	●温度調節つまみを「麻」から「化1」など低い温度設定にかえてすぐにアイロンをかけていませんか?	●スタンドに戻し、給電ランプが一度点灯したあと、再度消灯して適温になってから使用してください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コード・電源プラグが異常に熱い。
 - 電源コード・電源プラグに深い傷や変形がある。
 - 給電中に電源コードを動かすと電源ランプが消えたり、ついたりする。
 - こげくさいにおいがする。
 - 器具に触れるとビリビリと電気を感ずる。
 - その他の異常や故障がある。
- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、温度調節つまみを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 源	交流100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	1000W
製 品 寸 法(約)	本 体 幅:250mm × 奥行:120mm × 高さ:130mm 収納時 幅:290mm × 奥行:195mm × 高さ:260mm
製 品 質 量(約)	本 体 1.0kg 収納時 1.8kg
コ ー ド 長(約)	1.9m
蒸 気 発 生 方 式	滴下式
温 度 調 節	「化1」～「麻」約80℃～約190℃ バイメタル式サーモスタット(可変式)
安 全 装 置	温度ヒューズ
水 タ ン ク 定 格 容 量	水量 約120ml

※製品の仕様や外観などは改善などのため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル **0570-077-078**

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間: 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

●FAXでの フルダイヤル 相談は **0120-680-287**

●Eメールでの相談は **info_m@yamazen.co.jp**

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・品番をご連絡ください。

J-150304